

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
総合看護技術	4年次 前期	必修	講義	1単位(30時間)	南雲 陽子 ※
授 業 概 要					
各看護学で学んだ知識と技術を統合しながら、臨床看護実践を想定し、チームで行う看護ケアの提供を目指す。その課題達成に向けて、自己の役割を認識し、メンバー間で協力し合いチームワークの重要性を体験する。また社会人基礎力の12要素を理解し、個々の特性と能力を生かすことでチームワーク・コンピテンシーに繋げる。さらに自己の行動傾向を振り返り課題を明確にする。					
到 達 目 標					
1. チームで協力し合い課題達成に取り組む 2. 課題達成状況と課題達成までのプロセスを評価し、チームリーダーおよびメンバーのあり方を考える 3. 主担当看護師役は知識・技術を場面に応じて適応し、ペア間で情報共有し看護ケアを計画し提供する。 4. 全過程を通して自己の行動傾向について振り返る					
実務経験のある教員					
霜垣 美由紀・南雲 陽子：臨床現場の経験を踏まえ、一場面の看護技術の提供において各領域の知識を統合し実践に結び付ける演習をファシリテートする。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-2	1. チーム・コンピテンシーと課題達成 1) チーム・コンピテンシーとは 2) 社会人基礎力・チームで協力して働くために必要な能力				南雲 陽子 ※
3-15	2. 事例演習 1) 対象理解・看護計画立案 (1) 提示された事例に対し看護ケアを提供する上で、必要と考えられる内容をチームで検討する (2) 理解すべき内容をチームメンバーで分担し、各自が自己の役割を果たすために行動する(調べる等) (3) 知識・技術を場面に適応し、PNS看護方式を活用して看護ケアを計画し提供する (4) 計画を実施する。多重課題・時間切迫の状況下で、優先順位の決定・自己の力量の判断を行い対処(報告・連絡・相談)する (5) 看護実践結果を振り返り、状況に応じた適切な行動について考える (6) 一連の課題達成に向けた活動を振り返り、チームの力が発揮されたか、チームで振り返る (7) 各自が自己の行動傾向を振り返る				南雲 陽子 ※ 霜垣 美由紀※ 他
学 習 方 法					
講義 演習(シミュレーション) グループワーク					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 演習参加 レポート 詳細については授業初回に提示する。					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 新体系 看護学全書 専門分野Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 編集 深井喜代子 メジカルフレンド社 新体系 看護学全書 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 編集 深井喜代子 メジカルフレンド社 看護技術プラクティス 一つひとつの根拠がよくわかる! 監修 竹尾恵子 学研					
〔参考書〕 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術 監修 川島みどり 医学書院 医療安全ワークブック 川村治子 医学書院 医療におけるヒューマンエラー なぜ間違える どう防ぐ 河野龍太郎 医学書院					